

needs 生産工程の無駄を無くし、生産性を向上させたい

## 生産拠点の設備稼働状況を可視化し、ムダ取りを行い、生産性を向上させる

会社名 : 株式会社三友製作所  
事業内容 : 医療用分析機器関連製品の製造 等  
従業員数 : 210名  
所在地 : 茨城県常陸太田市馬場町 457

【URL : <http://www.sunyou-ss.co.jp/>】  
連絡先 : 0294-72-2245

背景  
・ 工作機械の正確な稼働状況を把握できていない。 → 課題を抽出できない  
・ 生産計画立案や納期確認のために遠隔地にある工場（2拠点）の稼働状況を移動したり電話で確認。 → 人手がかかる・煩雑

古いままの  
生産管理システム

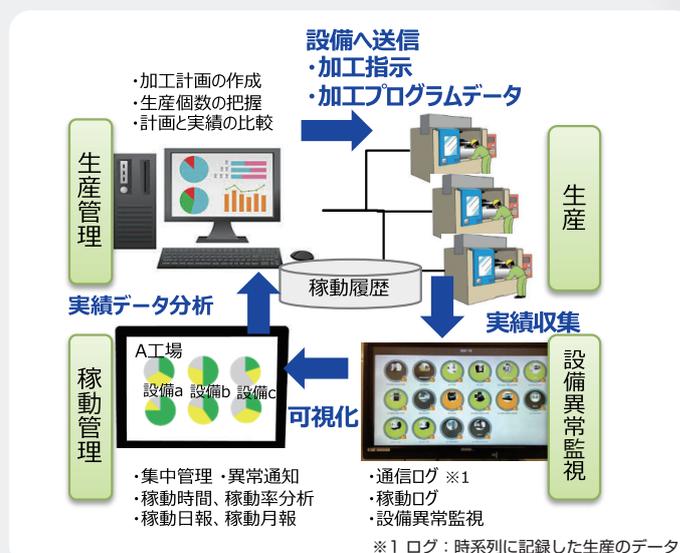
### IoTを活用した課題解決の内容

検討・導入期間 : 8ヶ月  
開発者 : 外部のIT企業に委託  
(Nazca Neo Linkaの導入)  
企画・推進 : 若手リーダー(29歳)が提案!  
導入コスト : 非公開  
※中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業補正予算補助金を活用

### 導入した生産管理システムの特徴

1. 設備の稼働状況を現場で可視化。
2. 全拠点の生産データを一元的に管理。

困りごと	解決方法
<b>1. 生産現場</b> ・ 設備稼働率向上の課題を把握できない ・ 加工方法が作業者毎に異なる。	<b>1. 工作機械の個別稼働状況の可視化</b> ・ 設備稼働実績から課題を抽出し、稼働率向上対策を現場が自主的に立案。 ・ 加工方法の無駄を分析し、優れた作業方法を標準化。
<b>2. 生産管理現場</b> ・ 遠隔拠点に生産進捗状況を直接確認(往來・電話)	<b>2. 遠隔拠点の生産状況の集中管理</b> ・ 設備稼働データをもとに生産計画作成



### 導入成果

- ・ 設備稼働率 : 25% 向上
- ・ 工場間の移動 (20分 / 片道)、電話での製造現場への問合せ (5分 / 回) ⇒ 不要 (PC上で把握可能)

### 成功したポイント

- ・ 生産設備の稼働状況を可視化することにより、今まで見ていなかった各オペレータの作業方法をデータを元に確認できるようになり、無駄取り等の作業改善に結びつけることができた。
- ・ 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業 補正予算補助金を活用して導入コストを低減したこと。

### 今後の展開予定

- ・ 可視化による改善を継続的に実行し、稼働率向上をさらに進める。
- ・ 稼働管理データを納期管理にも活かす。